

# 要 請 書

平成30年2月14日

環境大臣  
中川雅治 殿

特定非営利活動法人  
群島鳥類研究会  
理事長 恵沢岩生

## 〔要請事項〕

2018年1月6日東シナ海洋上で起きたとみられるタンカー事故について。

- 1、事故による海洋汚染の実態を緊急に調査し、流出物質の特定や除去の方法等、海洋生態系回復の具体的対策を立て実行すること。
- 2、国際機関と連携し、今回の事故の原因を徹底的に究明するとともに、事故再発防止策を立てること。

## 〔理由〕

私共は、南西諸島における野鳥の状況を十数年前から定期的に調査しており、今回の事故後、大瀬海岸における越冬シギチドリ類の種類と羽数の状況に大きな異変がみられたため（添付資料参照）、現在も深刻な海洋汚染が広がっており、海洋生物を通して、人にとって重大な健康被害が及ぶ可能性を危惧するからである。

以上

奄美大島大瀬海岸におけるシギチドリ類の調査記録  
(今冬期)

2017/12/30 (事故前)	7種101羽
2018/01/13 (事故後)	0種0羽
2018/02/11 (事故後)	0種0羽

奄美大島大瀬海岸におけるシギチドリ類の調査記録  
(各年1月)

2010/01/17	13種74羽
2011/01/22	9種58羽
2012/01/19	10種131羽
2013/01/17	8種256羽
2014/01/19	8種73羽
2015/01/25	10種108羽
2016/01/10	10種83羽
2017/01/28	11種135羽

\*記録の詳細は別紙参照。